

林野庁 令和5年木質バイオマスエネルギー利用動向調査 《主要な指標の年別推移》

http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/mokusitu_biomass/index.html

令和6年12月25日公表の、令和5年「バイオマスエネルギー利用動向調査」のうち、主要な指標を抜き出して、事業所数及び木材チップの利用量の推移を、グラフ化し比較できるようにしたものです。

【注】

2018年の公表から、チップ消費量等のうち一部の都道府県の数値が非公表になっています。これは、統計調査結果について調査対象事業者数が一定数以下の都道府県については、調査結果の秘密保護の観点から、当該結果を「x」表示とされているためです。この資料に関して林野庁へのお問合せはご遠慮ください。

一般社団法人 日本木質バイオマスエネルギー協会

〒110-0016 東京都台東区台東3丁目12番5号 クラシックビル604

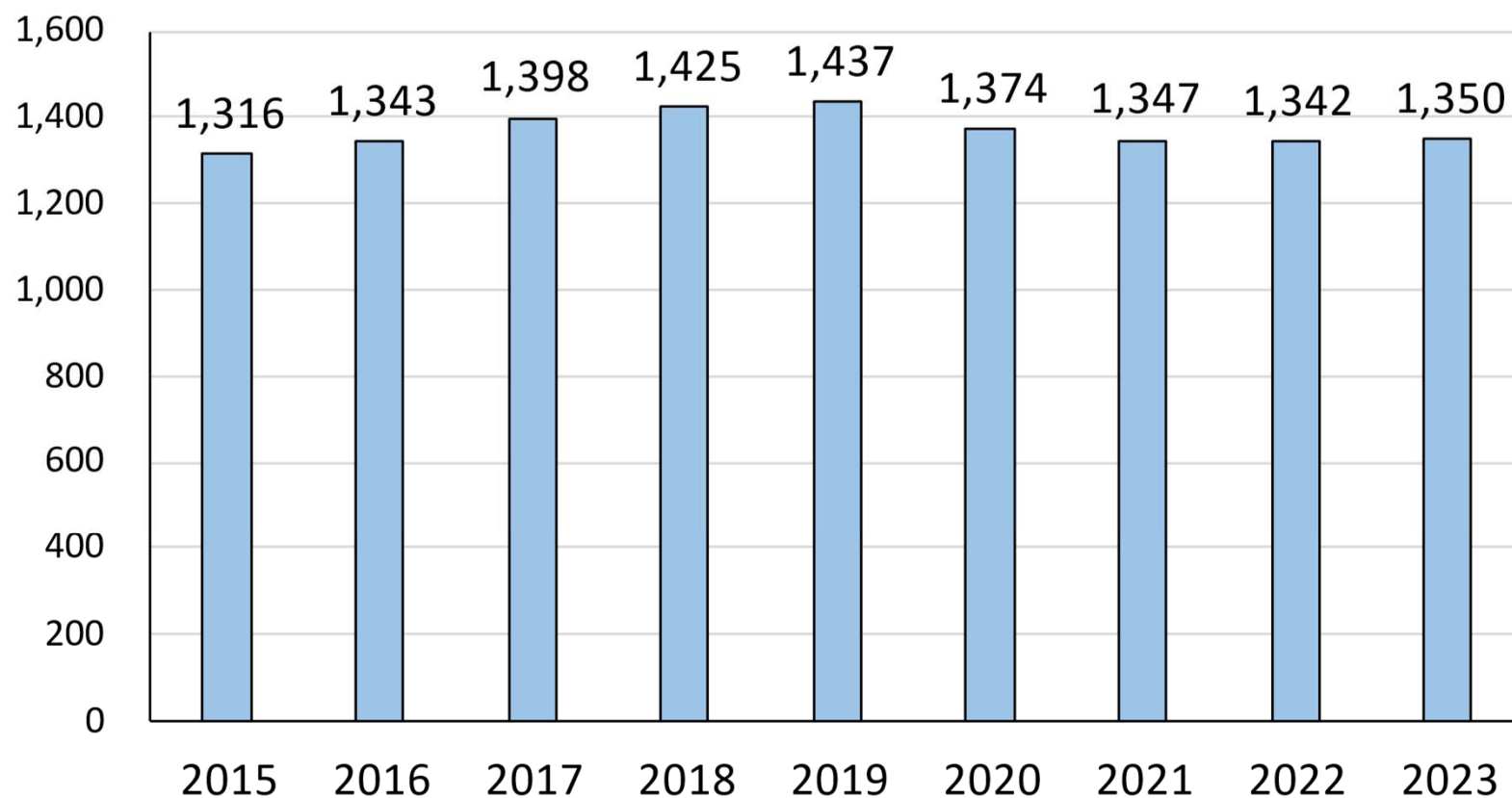
TEL : 03-5817-8491 FAX : 03-5817-8492

E-mail : mail@jwba.or.jp

1. 木質バイオマスエネルギー利用事業所数の推移（全国）

- 令和5年（2023年）の木質バイオマスエネルギー利用事業所数は、1,350事業所で前年と比べ、8事業所の増加（+0.6%）となっています。

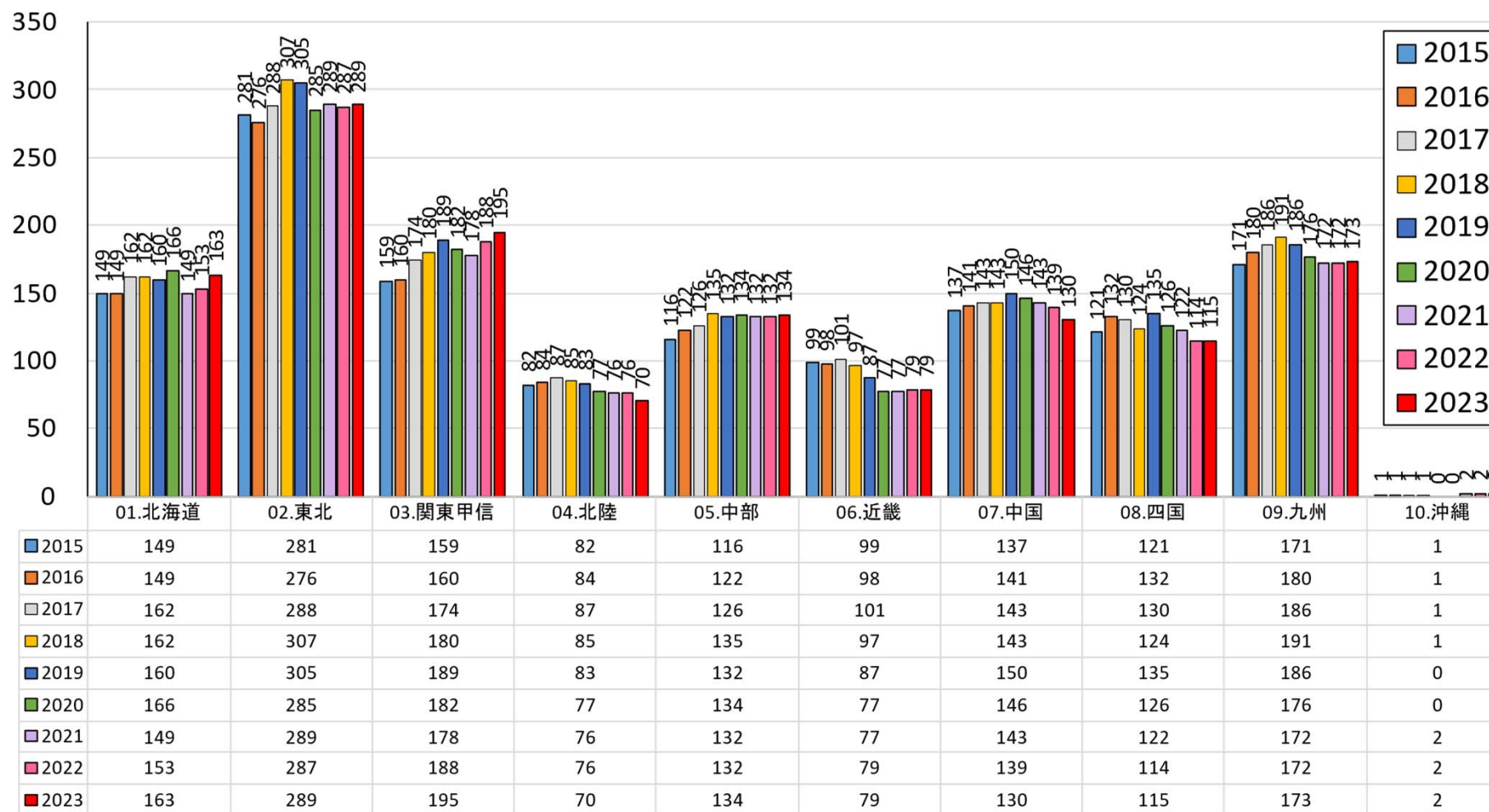
事業所数



2. 木質バイオマスエネルギー利用事業所数の推移（地方別）

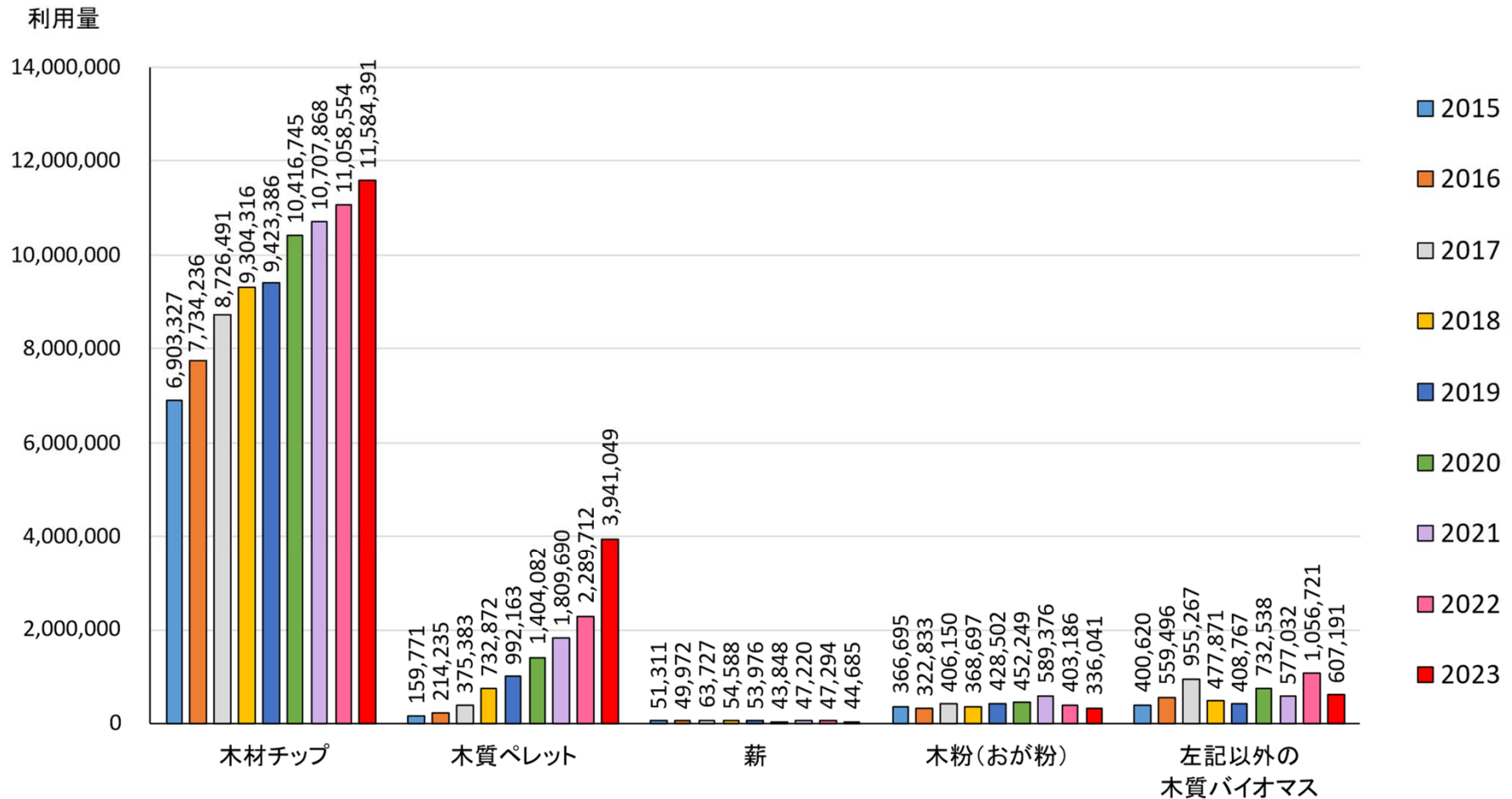
- 各地方での木質バイオマスエネルギー利用事業所数は、以下のようになっています。

事業所数



3. 木質バイオマス利用量の推移（全国）

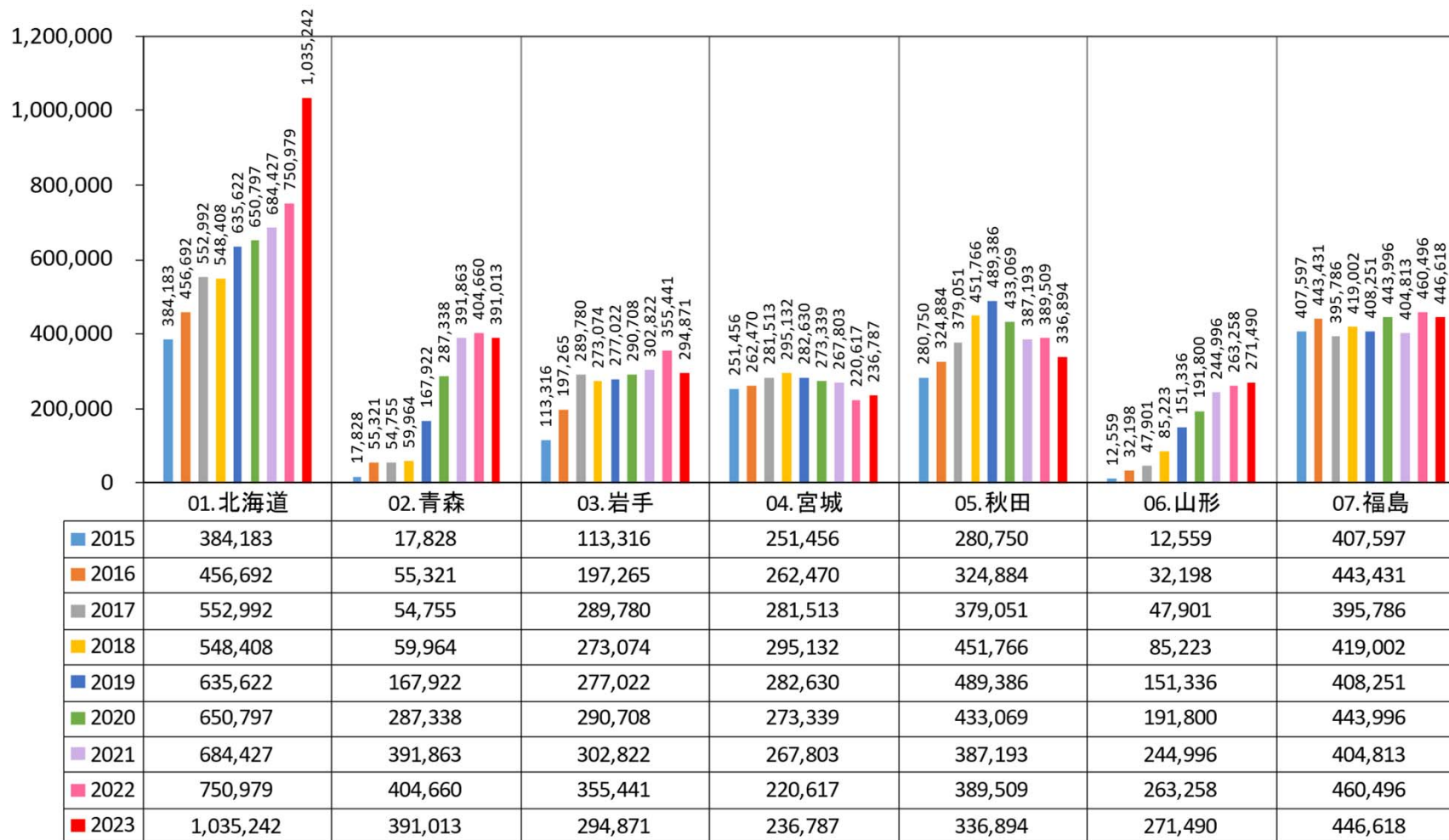
- 木質バイオマス利用量の推移を見ると、木材チップは前年比+4.8%、木質ペレットは+72.1%、薪は▲5.5%、木粉は▲16.7%、その他のバイオマスは▲42.5%でした。
※単位：木材チップは絶乾トン、木材チップ以外はトン



3-1. 木材チップ利用量の推移（北海道・東北地方）

- 「2. 木質バイオマス利用量の推移」のうち、木材チップの利用量を都道府県別に（北海道・東北）推移を示したのが以下の図です。

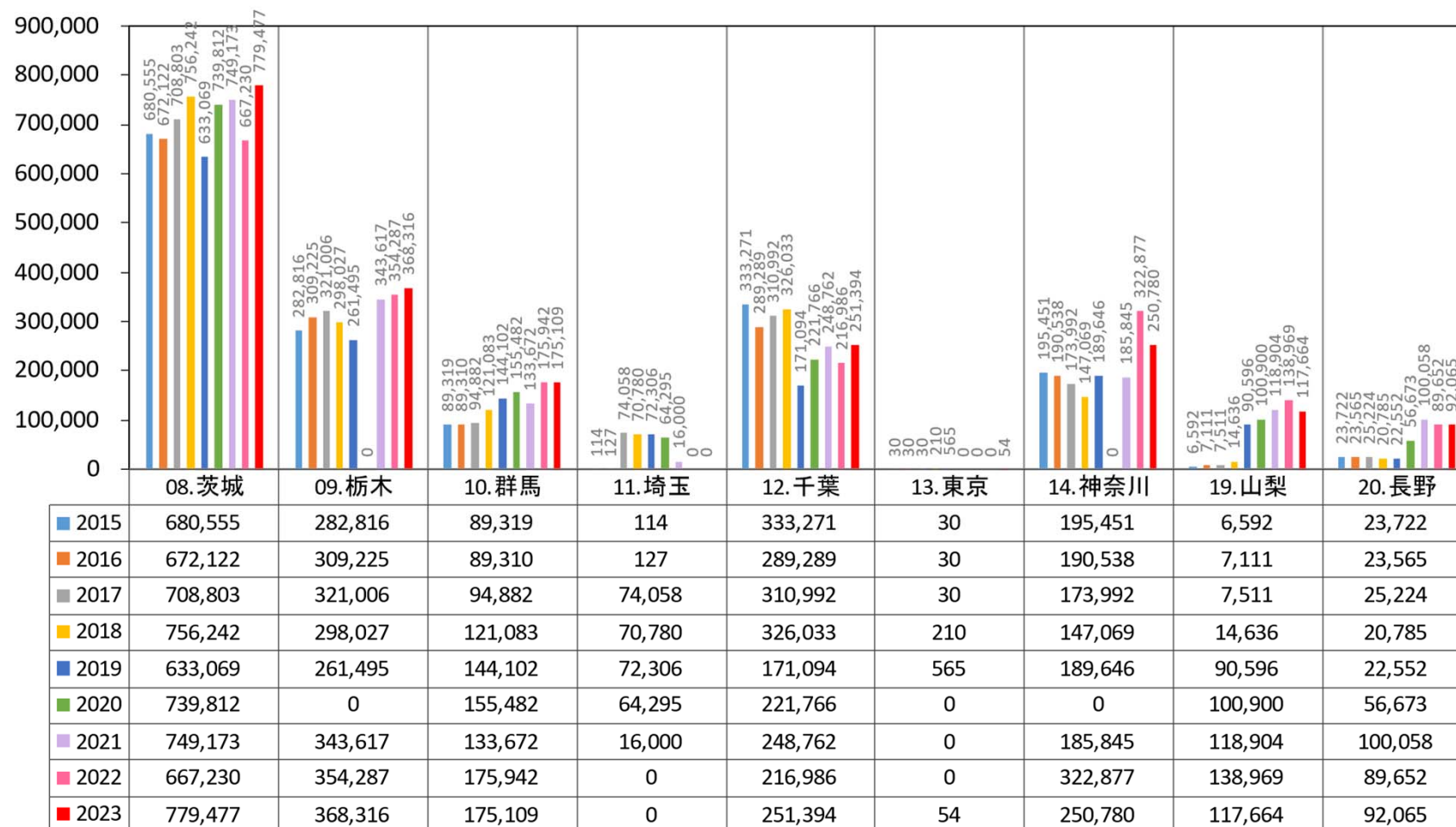
利用量（絶乾トン）



3-2. 木材チップ利用量の推移（関東甲信地方）

- 「2. 木質バイオマス利用量の推移」のうち、木材チップの利用量を都道府県別に（関東甲信）推移を示したのが以下の図です。※各年の数値がゼロ（0）は公表対象外になっています。

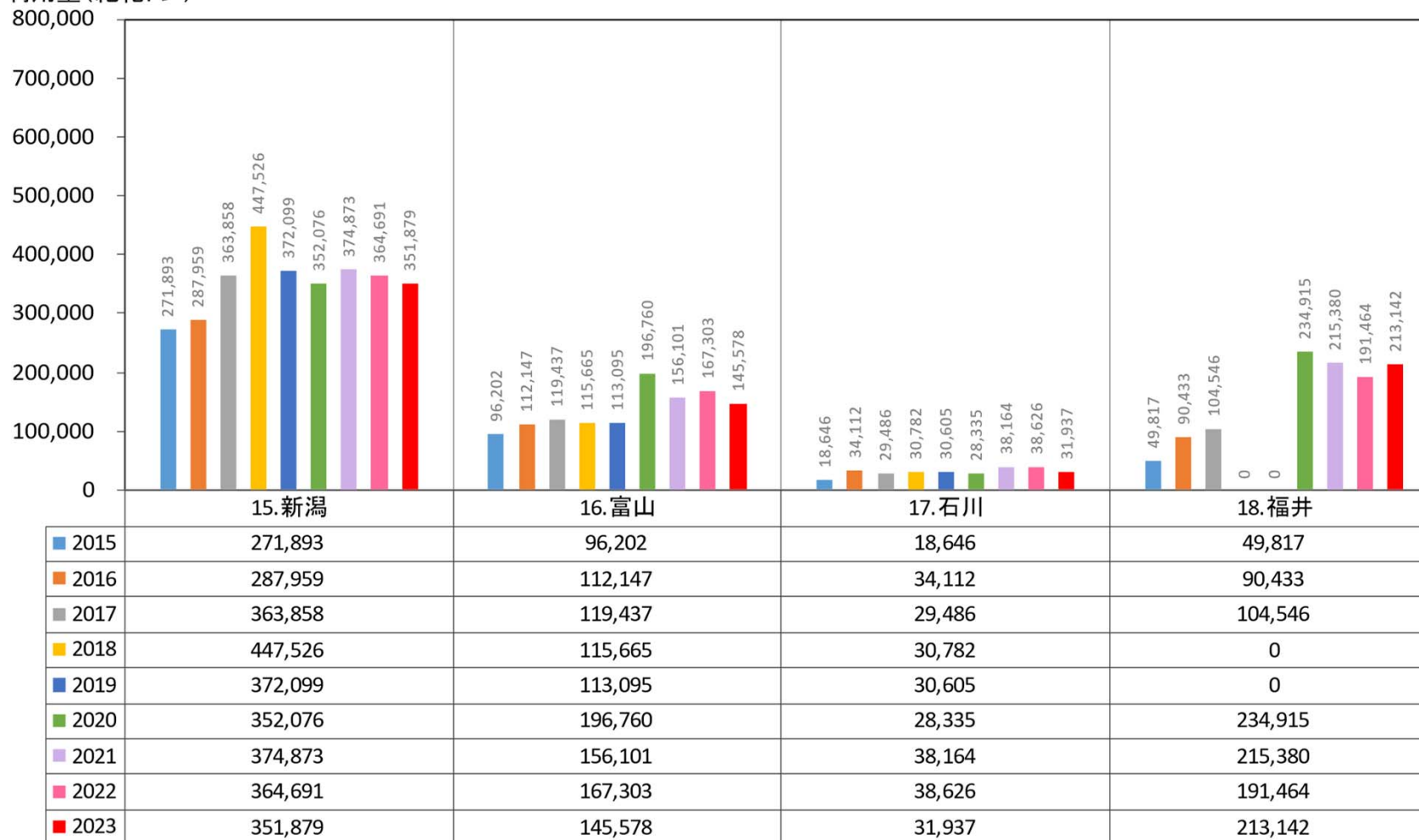
利用量（絶乾トン）



3-3. 木材チップ利用量の推移（北陸地方）

- 「2. 木質バイオマス利用量の推移」のうち、木材チップの利用量を都道府県別に（北陸）推移を示したのが以下の図です。※各年の数値がゼロ（0）は公表対象外になっています。

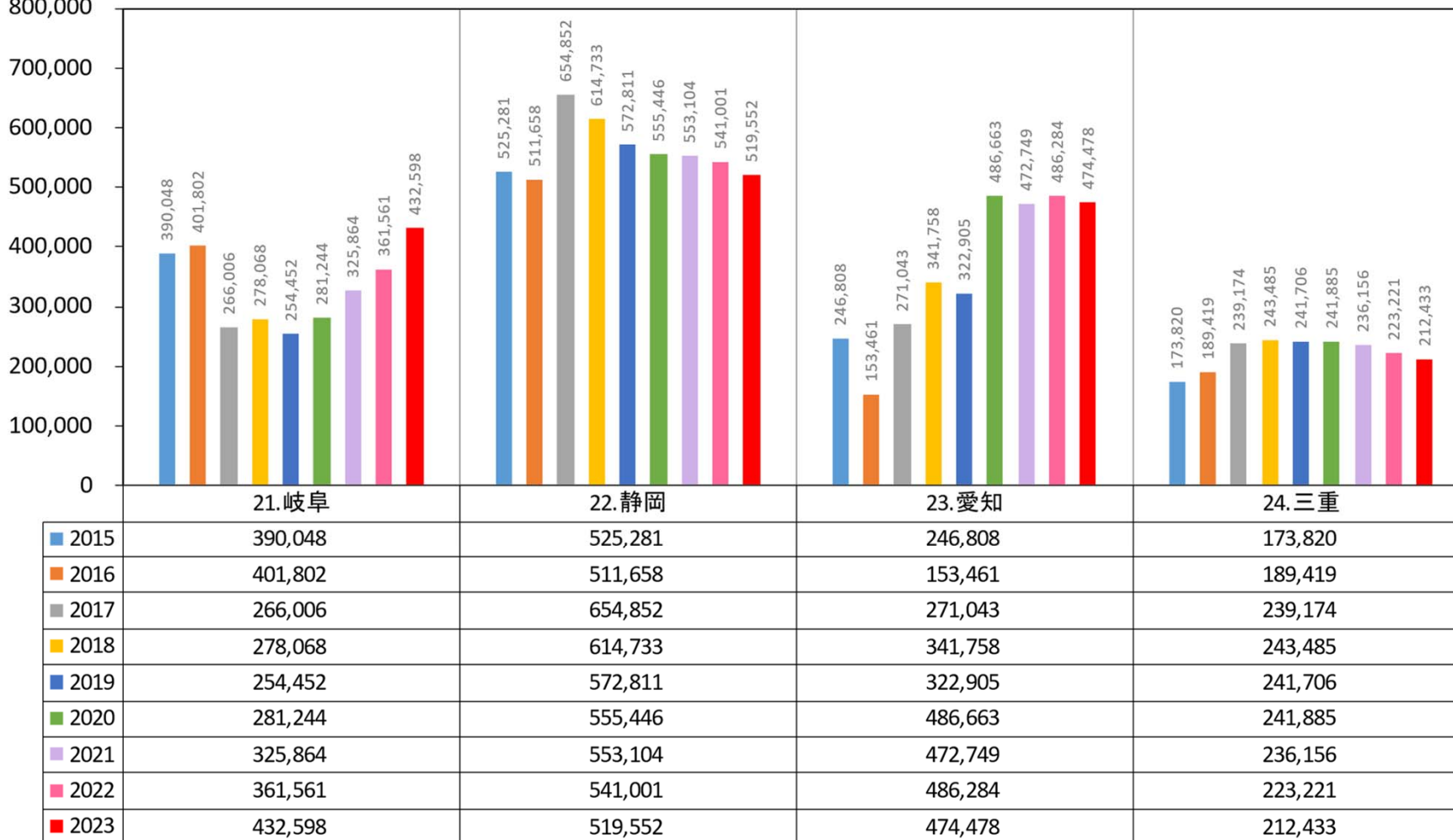
利用量（絶乾トン）



3-4. 木材チップ利用量の推移（中部地方）

- 「2. 木質バイオマス利用量の推移」のうち、木材チップの利用量を都道府県別に（中部）推移を示したのが以下の図です。

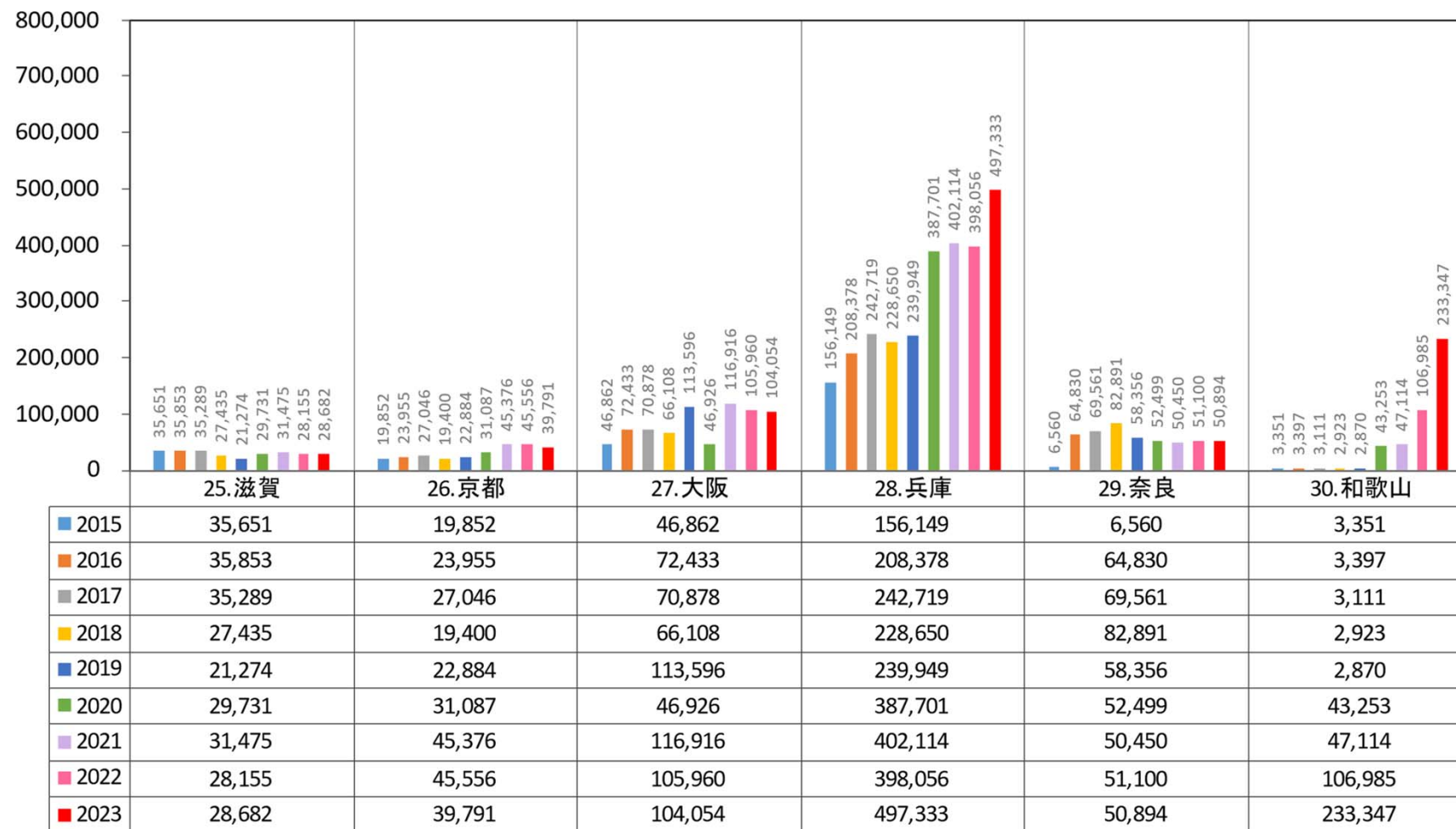
利用量（絶乾トン）
800,000



3-5. 木材チップ利用量の推移（近畿地方）

- 「2. 木質バイオマス利用量の推移」のうち、木材チップの利用量を都道府県別に（近畿）推移を示したのが以下の図です。

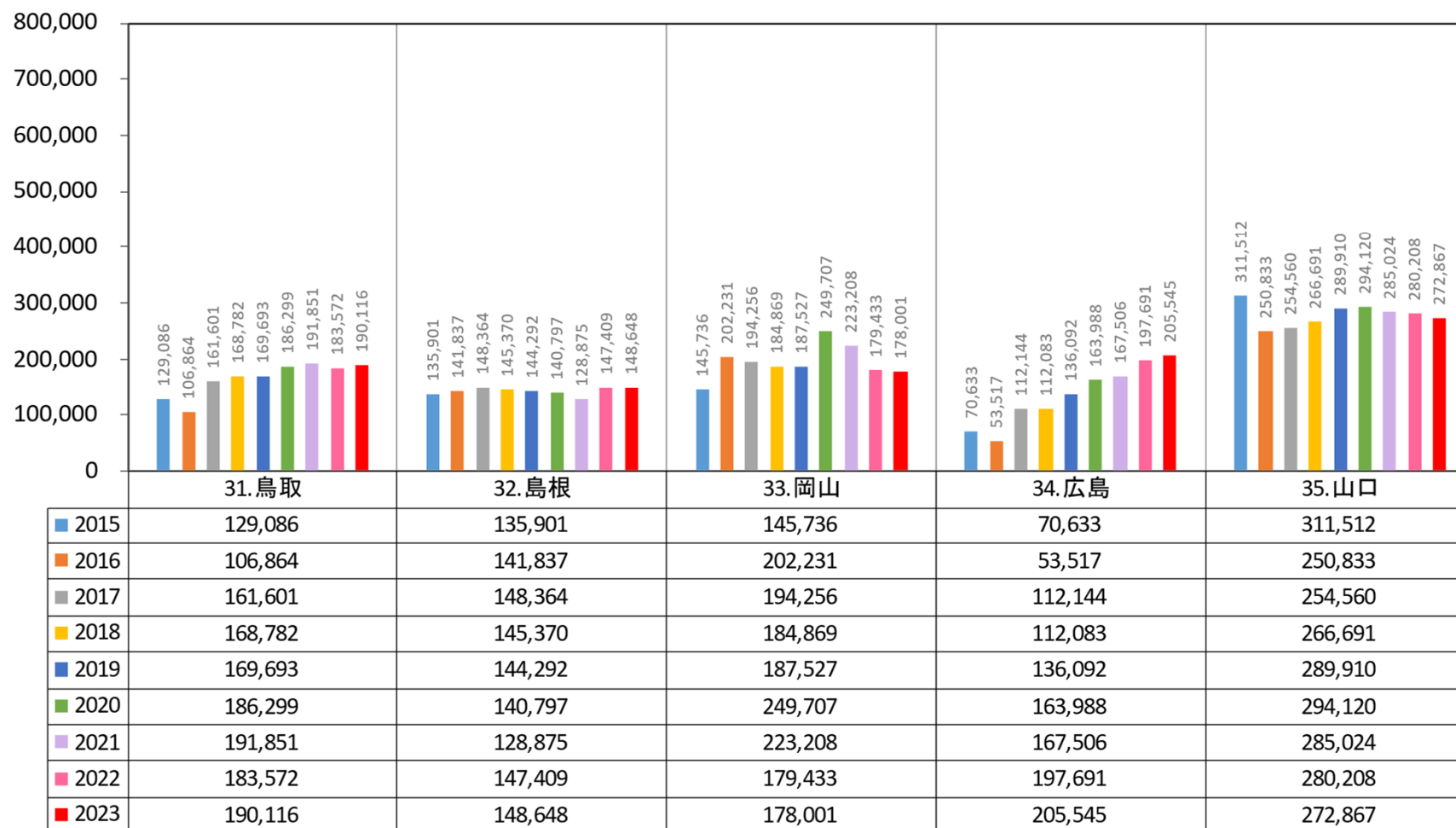
利用量（絶乾トン）



3-6. 木材チップ利用量の推移（中国地方）

- 「2. 木質バイオマス利用量の推移」のうち、木材チップの利用量を都道府県別に（中国）推移を示したのが以下の図です。

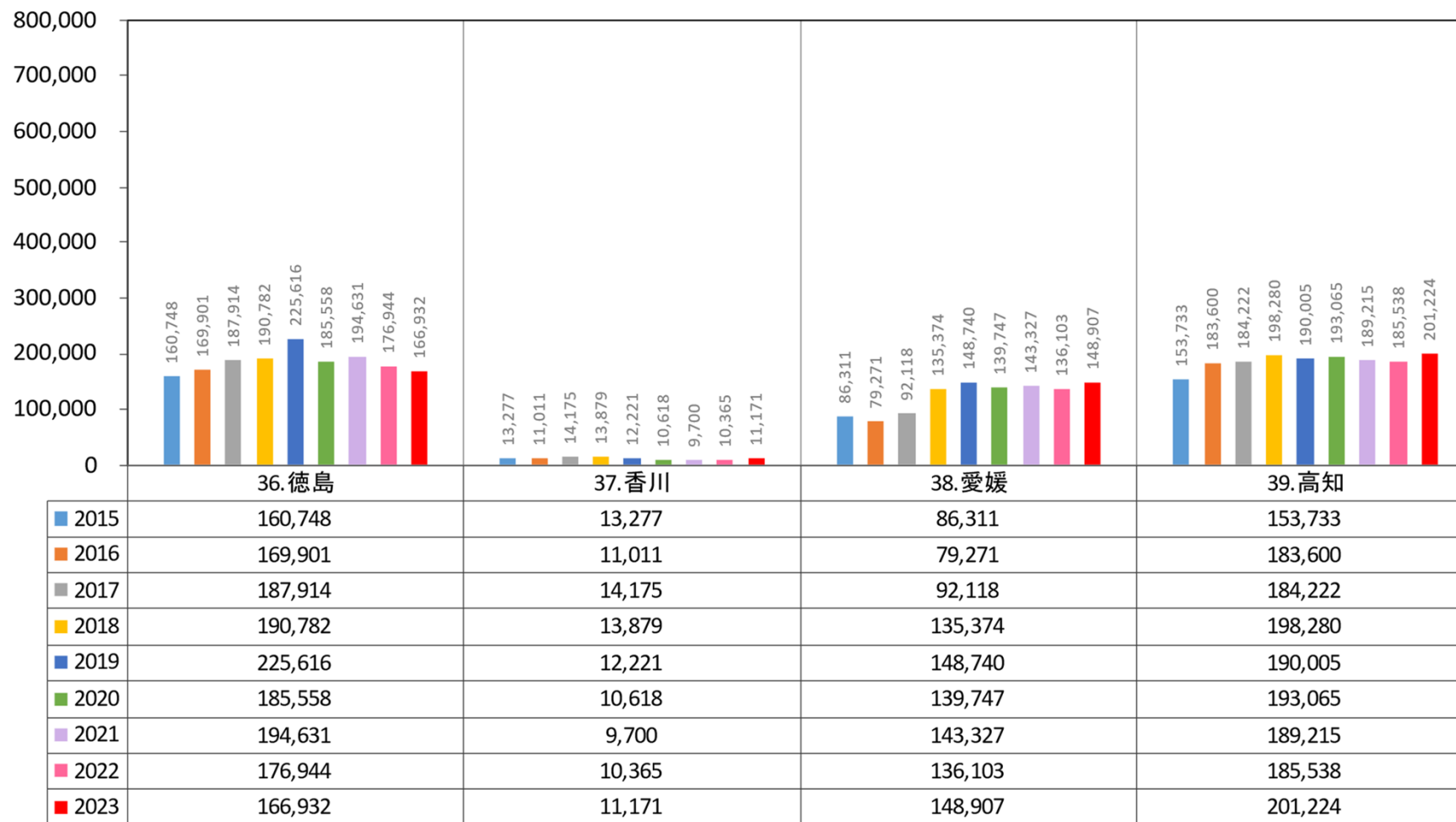
利用量（絶乾トン）



3-7. 木材チップ利用量の推移（四国地方）

- 「2. 木質バイオマス利用量の推移」のうち、木材チップの利用量を都道府県別に（四国）推移を示したのが以下の図です。

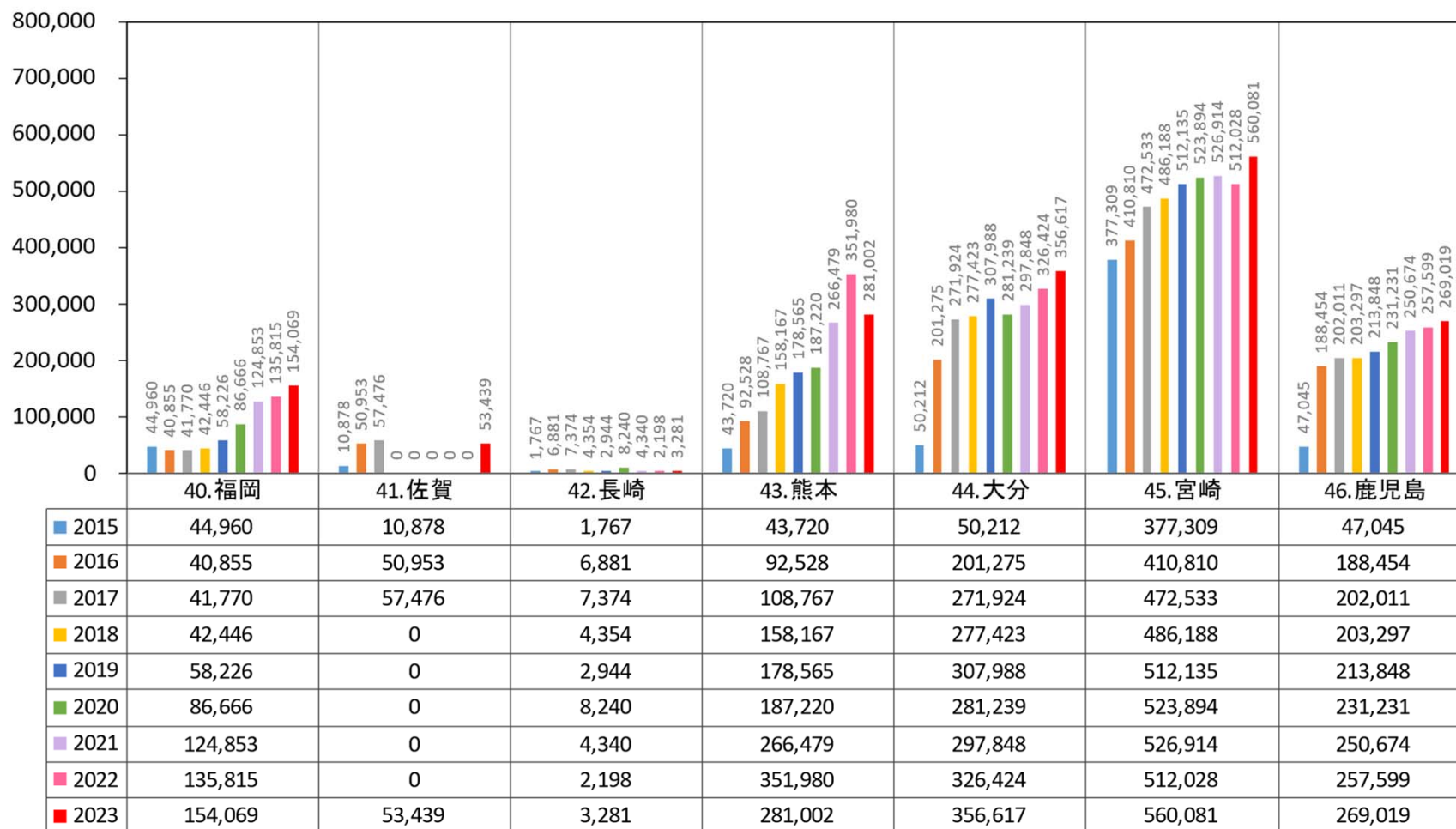
利用量（絶乾トン）



3-8. 木材チップ利用量の推移（九州地方）

- 「2. 木質バイオマス利用量の推移」のうち、木材チップの利用量を都道府県別に（九州）推移を示したのが以下の図です。※各年の数値がゼロ（0）は公表対象外になっています。

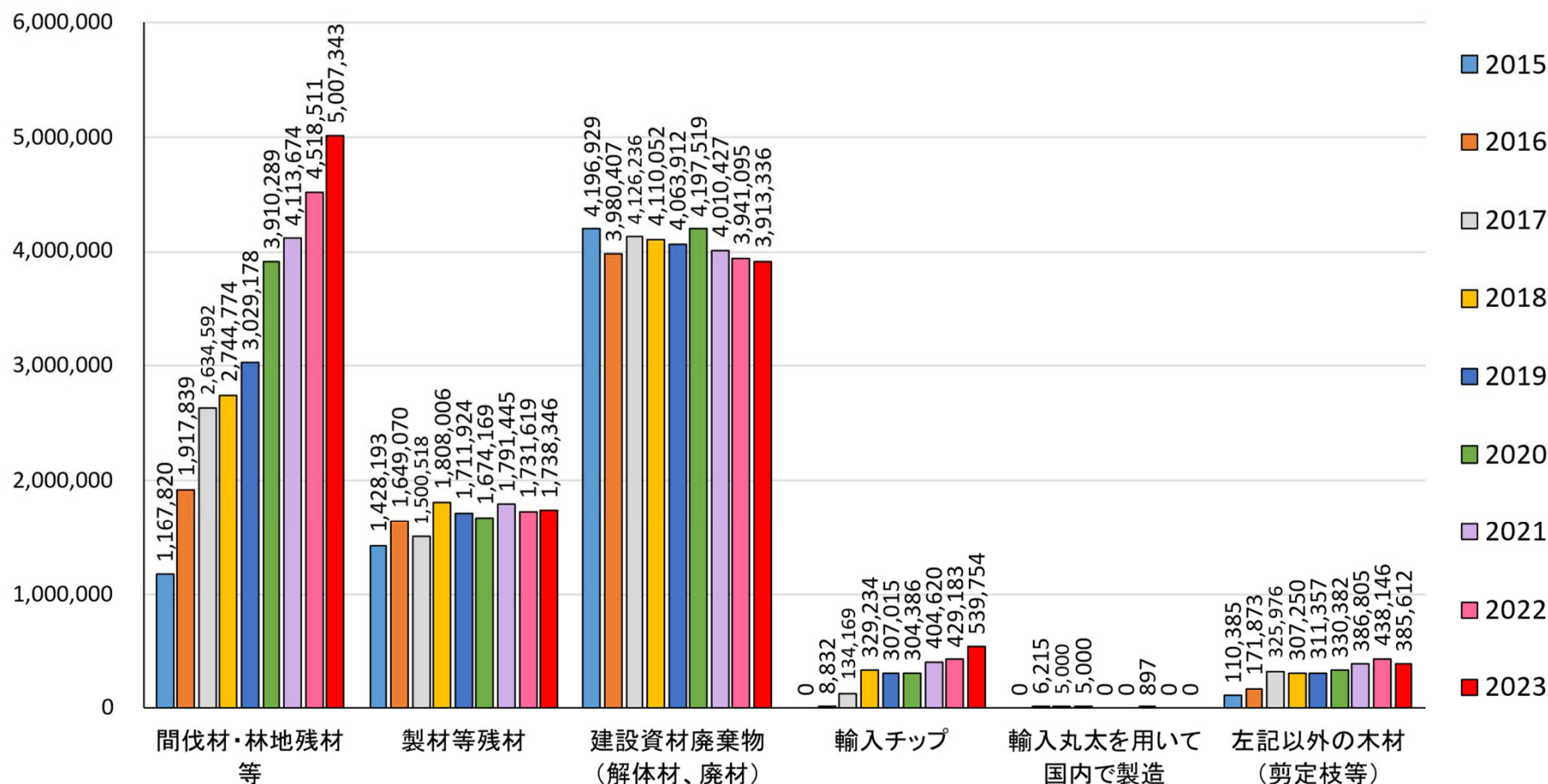
利用量（絶乾トン）



4. 木質バイオマスのうち、由来別木材チップ利用量の推移（全国）

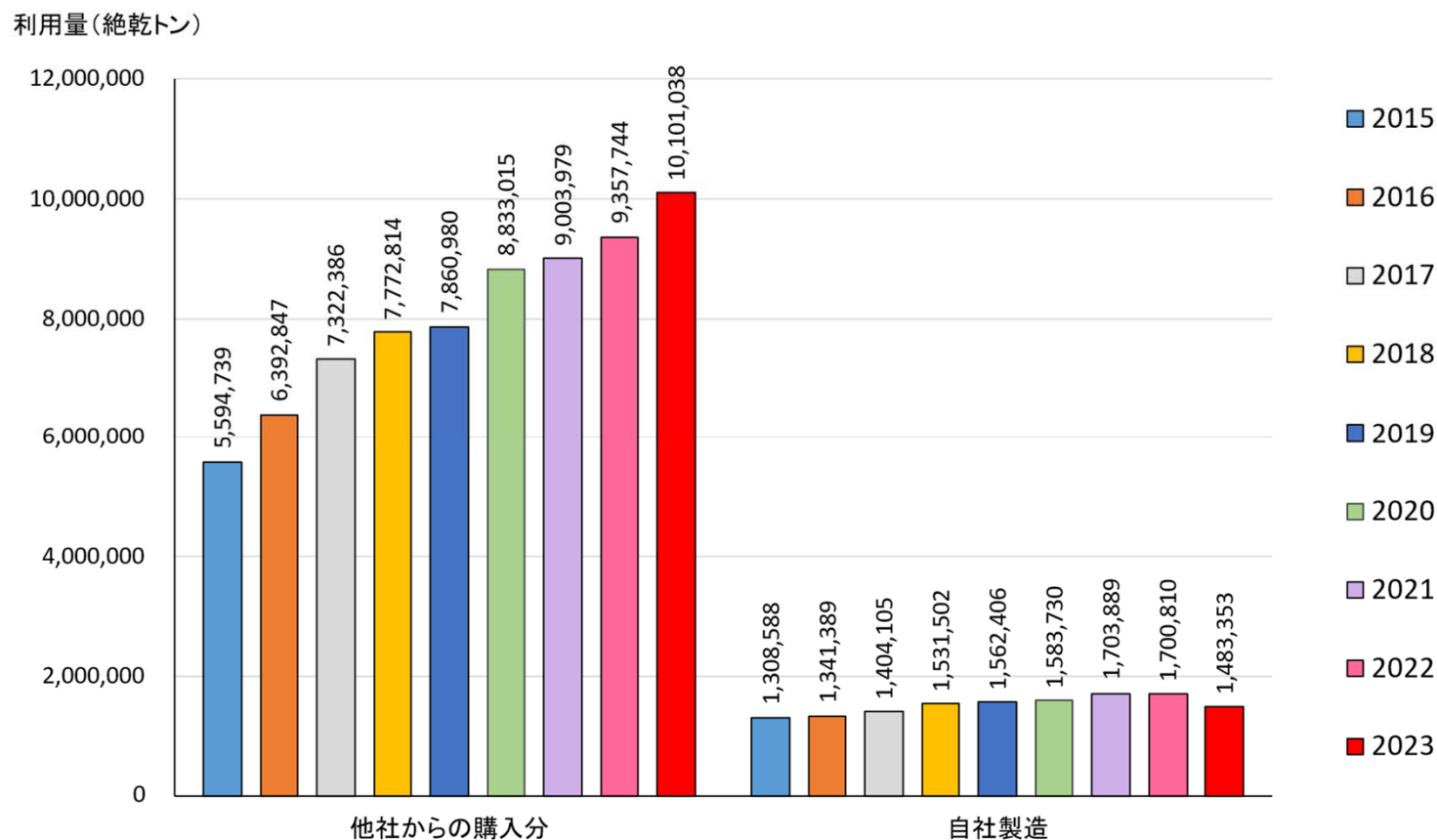
- 「2. 木質バイオマス利用量の推移」のうち、木材チップの推移を由来別に比較すると、以下ようになります。間伐材・林地残材等は前年比+10.8%、製材等残材は+0.4%、建設資材廃棄物は▲0.7%、輸入チップは+25.8%、その他の木材は▲12.0%でした。

利用量(絶乾トン)



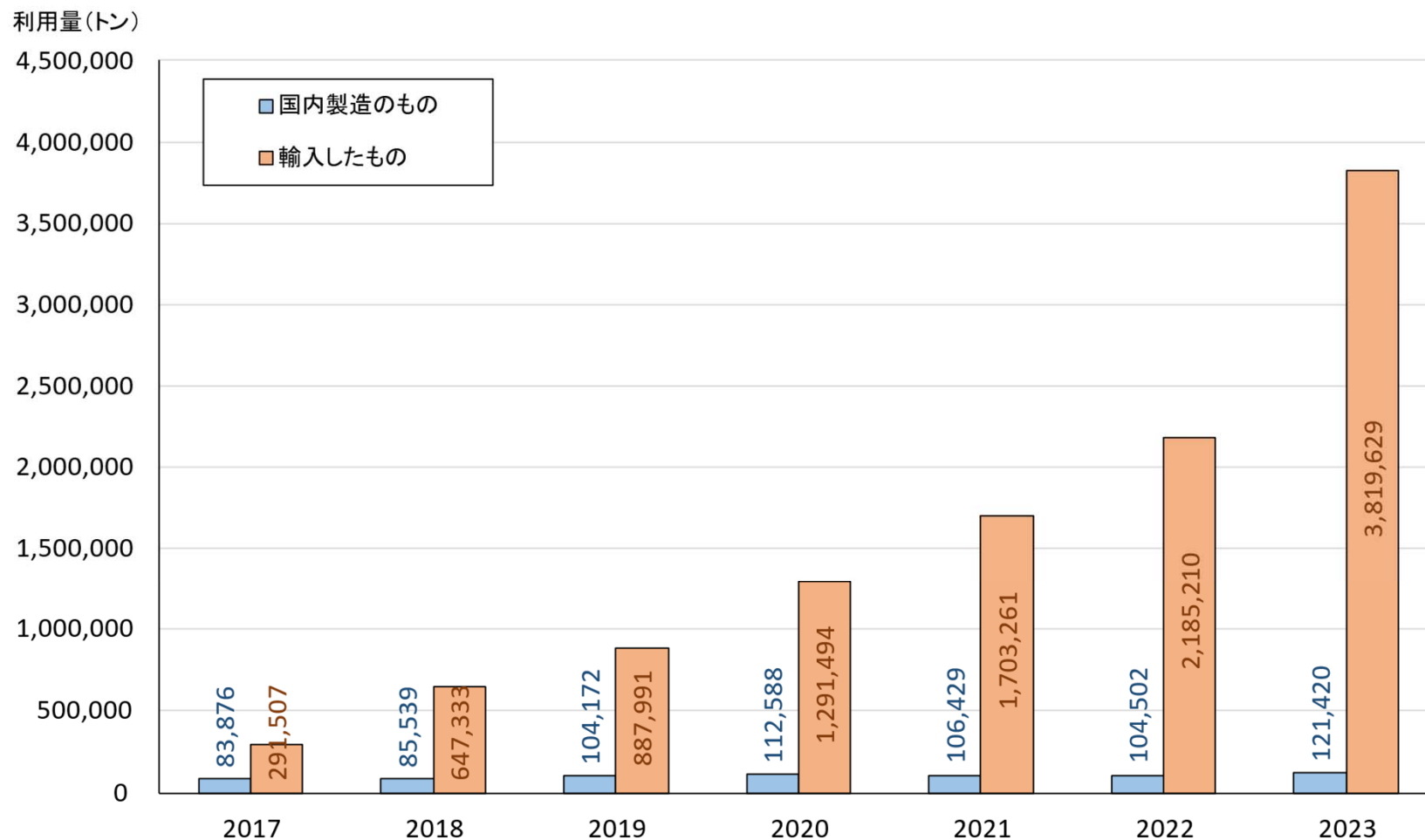
5.木材チップの他社購入、自社製造別の利用量（全国）

- 木材チップの「他社購入」「自社購入」の推移は以下のグラフのようになります。



6.木質ペレットの利用量の推移（全国）

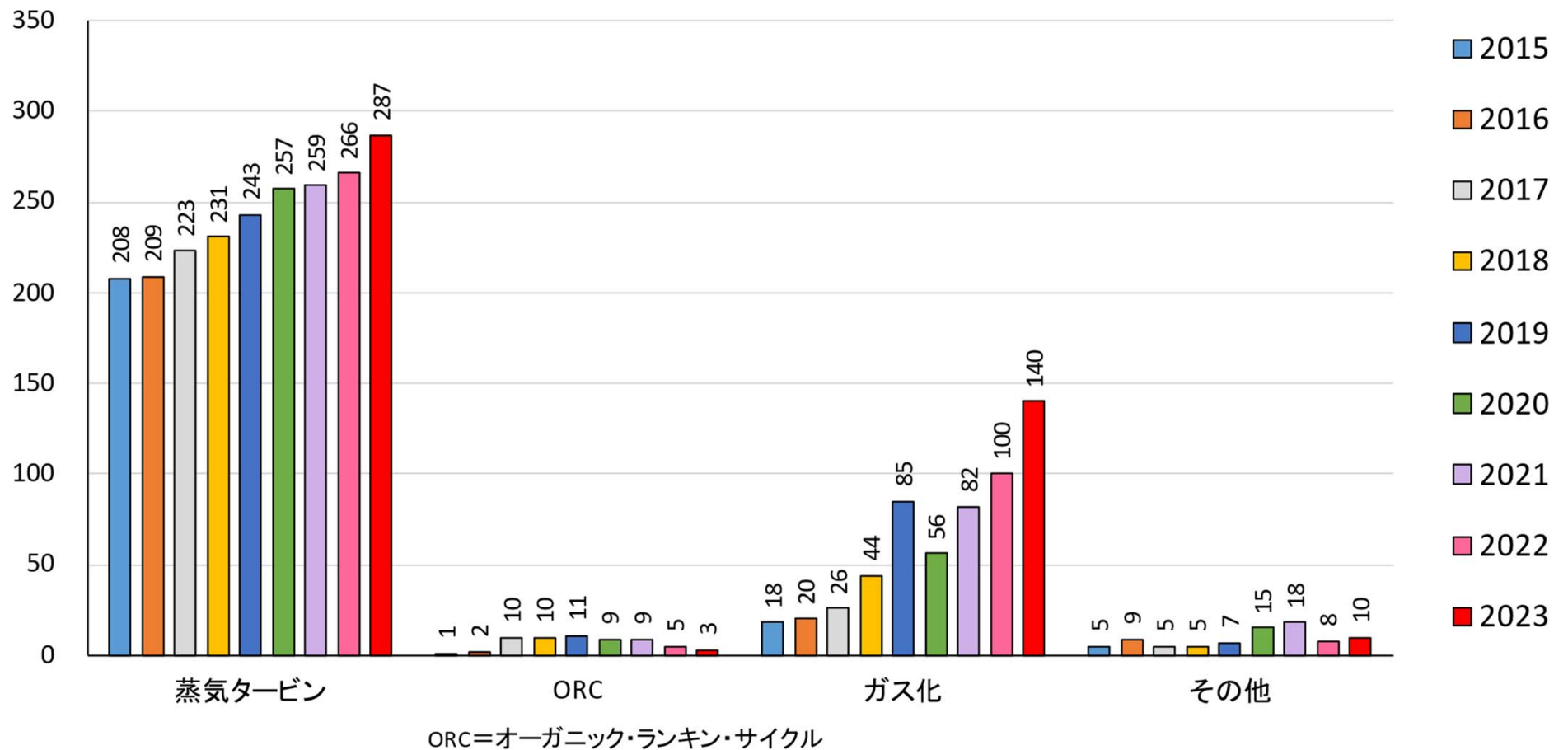
- 「2. 木質バイオマス利用量の推移」のうち、木質ペレットの国内製造・輸入別利用量の推移を示したのが以下のグラフになります。2023年は木質ペレットの利用量は大幅に伸びました（+74.8%）。



7. 種類別発電機数の推移（全国）

- 種類別発電機数の推移は、以下のグラフのようになります。蒸気タービンは前年比+7.9%、ORCは▲40.0%、ガス化は+40.0%でした。

発電機数(基)



8.用途別発電機数の推移（全国）

- 用途別発電機数の推移は以下のグラフのようになります。自社又は自社関連施設で利用は前年比±0.0%、売電での利用は8.7%の増加でした。

発電機数(基)

